

区側	<p>[資料の確認および出席者の確認]</p> <p>本日は、宮澤委員、花谷委員、橋本委員、関川委員、團村委員、岡田委員の6名が欠席である。</p> <p>関川委員から事前に意見を頂いており、共有させて頂く。</p>
会長	<p>[会議の公開について]</p> <p>異議なしのため、2名の傍聴者の入室を許可する。</p>
会長	<p>[会議録（案）について]</p> <p>事前に事務局より第6回目黒区長期計画審議会会議録を送付しているが、その後修正があった。</p> <p>修正・質問等はあるか。</p> <p>異議なしのため、こちらで確定とする。</p>
区側	<p>[第6回長期計画審議会での質問に対する回答等]</p> <p>[第6回長期計画審議会における行政分野別審議のまとめ]</p> <p>※事務局より資料1、1-1、2を説明</p>
会長	<p>資料について質問・意見等はあるか。</p> <p>異議なし。</p>
会長	<p>行政別分野審議について、区側の説明をお願いしたい。</p>
区側	<p>[行政分野別審議（安全・安心の街づくり）]</p> <p>（資料により説明（基本構想検討シート：安全・安心の街づくり））</p>
会長	<p>ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>自由が丘周辺なども含め、地球温暖化による風水害を懸念している。特に目黒は、樹木が多いのは素晴らしいと思っているが倒木が心配である。水害だけではなく風害に対する対策も必要ではないか。</p>
区側	<p>樹木の風害対策についてだが、先日の台風では目黒区内の公共施設内で90本の倒木があった。そのうち、保存樹木の倒木は1本である。適正な管理は必要であると考えているが、阪神淡路大震災では公園の樹木が延焼被害をとどめたり、家屋の倒壊を樹木が支えたりという例もあるため、それぞれの樹木に応じた適正管理を行いたい。</p>

委員

安全安心の街づくり分野にも防災の話があり、それとは別に防災・防犯分野があるため、重複しており資料が整理されていない印象だ。

まず、都市づくりでは都市構造や土地利用、次に交通環境、安全安心となる。安全安心では防災、防犯危機管理でまとめるのが一般的なため、このタイトルに違和感がある。安全で快適に住み続けられる街づくりという表現であれば都市づくり全体の理念を表すと思うが、安全・安心というタイトルにしてしまうと、防災に偏ってしまう。タイトルや内容の整理が必要ではないか。

もう一点は、全体的に細かすぎる点だ。長期計画は理念的なものをうたうものである。手段や具体的な施策については、基本計画に委ねるほうがよい。例えば、拠点整備というキーワードが出てくるが、なぜそれが必要なのかという考え方を書くべきで、表現をより工夫すべきだ。居住環境においてもいきなり空き家が出てくるが、これも手段であるのでもっと望ましい表現があると思う。

委員

「5.新たな政策課題」には、区営住宅等ハード面の拡充が困難な中でと記載があるが、公営住宅など公的な住宅をハード面から保証していくのは今後も大きな課題であるため、課題解決の方向性にも記述が必要だ。

課題解決の方向性・10年後に既存の住宅ストックを資産活用について記載があるが、現状でも高齢者の住宅確保が困難なため、10年後ではなく5年後に早めるべきではないか。

防災まちづくりについてだが、5年後に区内の耐震化率を95%以上としているが、これも可能な限り早める必要があるだろう。

副会長

空き家対策については、ソフト面についても書き込んでいただいたので、学ぶことの多いこれからの方向性が出たと思う。

だが、「新たな政策課題」の拠点整備に地域コミュニティなどのソフトという記載があるが、これは抽象的な言葉だけで曖昧ではないか。

モノがなければ安全は確保できないことを災害のたびに痛感しているが、5年後10年後のところでは反映されていない。前回の再掲でもよいが、住民による支えあいのような面が明確になっておらず、そこがなければ安全・安心や防災はできない。そのあたりの表現や見せ方を工夫してほしい。

委員	<p>2の(5)で Park-PFI についての記載があり、5-(10)の新たな政策課題や10年後でも目指すところとしている。現状に不備があってより良い方向に進むためにそちらを目指すなら理解できるが、現状の評価がわからない中で、10年後まで新制度を推し進めると言い切ってよいのか。現状をどう分析しているのか。</p>
区側	<p>民間活力を活用して区の公園を活性化していきたいというのが狙いで、どういった形で活用するのか決定しているわけではない。Park-PFI に限定はしておらず、その他の手法も検討して進めていきたい。</p>
委員	<p>5-(8)で公園整備に取り組むとあるが、目黒区は住宅が密集しているため、これから公園の整備をするのは困難だろう。例えば、目黒区に限らず、品川区の公園を使わせてもらい、品川と合同で公園を整備していくなど、10年後を見据え思い切った施策を検討してはどうか。</p>
委員	<p>今後、空き家の増加が見込まれるのでそれを買って上げて公園にしてはどうか。補助26号線が来年3月に開通予定だが、その道路沿いに樹木を植えてみどりを増やしてはどうか。</p>
委員	<p>公園が園庭のない保育園の子ども遊び場になっている。大きな公園が一つあるより、より小さな公園がたくさんある方が園児など子どもの安全には良いと思う。</p>
委員	<p>学校の統廃合など、区の施設を見直していく際に公園を整備していくことを検討してはどうか。</p> <p>大きな庭を持つ屋敷が減少し、マンションなどに建て替えられる中で、今後戸建ての建築確認等の際に、植樹を強く勧めてはどうか。まちぐるみ、行政と区民とで連携していくことが必要ではないか。そうでなければ、今後緑地面積はますます減少していくだろう。</p>
委員	<p>公園整備について、民間活力活用も含めて検討しているとのことだが、PFIの検討は急ぐべきではないか。</p> <p>駒場公園付近に住んでいるが、巨木や防虫対策など問題が多く、時間軸を早めていく必要があると思う。</p> <p>公園の面積を一時に広げることにはできないと思うが、質の向上はで</p>

	<p>きるのではないか。</p>
委員	<p>大きな公園には水道もトイレも完備されているが、小さな街角公園には両方とも整備されていない。小さくても公園とよぶなら、水道やトイレを整備してほしいし、そういったものがないと利用率が下がってしまう。公園というならトイレと水道を完備する概念を持ってほしい。</p>
区側	<p>公園児童遊園には水飲み場や誰でもトイレは基本的に整備しているため、整備されていない公園があれば教えてほしい。</p>
会長	<p>公園の質の問題についてだが、今後の課題として検討いただきたい。「4.目黒の将来像」だが、子どもが少子化で減少傾向にある中、「子どもの元気がみえるまち」というのが、目黒全体を指す都市像なのかと思う。もっと広いところを捉える考えはあるのか。</p>
区側	<p>当時の都市計画マスタープランのことだと思うが、当時は少子高齢化傾向にあり、20年後は子どもが増えているようにと都市像を設定した。現在は子どもが増え保育園も140ほどある。少子化については目標が達成されたので改定を検討している。</p>
会長	<p>では道路交通分野に移るので、区には説明をお願いします。</p>
区側	<p>[行政分野別審議（道路・交通）] （資料により説明（基本構想検討シート：道路・交通））</p>
会長	<p>ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>「2.近年の社会状況の変化」（4）に高齢者が関与する交通事故について言及しているが、「5.新たな政策課題」や「6.課題解決の方向性」において、まったく記述がないのはなぜか。目黒区でも何か検討していただきたい。</p> <p>「6.課題解決の方向性」（7）自転車安全利用促進についてだが、ハード面は充実しているがソフト面での取組も必要ではないか。自転車安全教室以外の取組が見当たらなかったが、どのように考えているのか。</p>

区側	<p>高齢ドライバーのブレーキの踏み間違いについてだが、区の HP にも記載し啓発への取組を開始したところだ。</p> <p>現在の交通安全計画は、地域の子ども向けと高齢者向けの二つで区と警察とで取り組んでいる。それ以外については、条例の制定に取り組んでおり、その中で対策を検討している。</p>
委員	<p>都市計画について、都市計画道路の整備についてだが本当に必要か。</p> <p>自転車事故の割合が東京都と比べて高いのはなぜか？原因について検証しているのか。</p> <p>自転車シェアリング事業は上手くいっているのか。</p>
区側	<p>席上に目黒区の地図を配布しているが、こちらに都市計画道路の決定内容等を記載している。これは平成 28 年 3 月に策定された東京都における都市計画道路の整備方針に則り進めているものである。</p>
区側	<p>目黒区は 23 区内でも坂道が多く交差点も多いため、東京都と比較して自転車事故発生率が高くなっている。</p> <p>自転車のシェアリング事業は開始して 8 か月だが、稼働率が上がり需要も高まっている状況である。</p>
委員	<p>都心部からの主要な道路が整備されればされるほど、交通量も増加する。渋滞が発生するとう回路を利用するが、う回路の安全性の整備も必要ではないか。</p> <p>目黒区は坂道が多くそれに伴う事故も多発するため、明らかに事故が多い箇所の改善や対策を進めていくべきだ。また、降雪時の危機管理や対策も必要だろう。</p> <p>シェアリング自転車についてだが、外国の方が使用し、暴走しているケースを見かけることがある。自転車においても最低限のルールが道路上に示されていれば、マナーの改善につながるのではないか。</p>
委員	<p>10 年後ぐらいには人口減少や高齢化が進む中で、坂道の多い目黒区の地域特性に合った課題を検討しておくべきではないか。</p>
委員	<p>「5.新たな政策課題」の（４）歩行空間のネットワーク形成とは何か。</p>

	<p>自転車の利用促進を行うとあるが、それは必要か。この計画に記載するほどのことなのか。</p>
<p>委員</p>	<p>「6.課題解決の方向性」の(3)無電柱化についてだが、令和2年度に無電柱化推進計画を策定し、とあるがどのように策定するつもりなのか。策定する内容が実情とかけ離れていては進まないと思うので、お聞きしたい。</p>
<p>区側</p>	<p>無電柱化推進計画については、今年度中に素案を作り区民の皆さんのご意見をいただきたい。区が区内の道路状況を調査し実現性が高い場所で行っていき。住民の方の協力が必要なので、そういったことも鑑みて計画を策定予定である。</p>
<p>委員</p>	<p>可能なら計画段階から企業の意見を聞くのも有効ではないか。</p>
<p>区側</p>	<p>無電柱化は管を行政(自治体)が作り、そこに通信管理者などの民間が管に線などを通す。区の予算で行うもので、民間が行うものではないため、補助金などが無いと行えない。千葉で台風により電柱が倒れ大きな被害がでたため、区としても無電柱化に取り組みたい。最後に問題になるのが、トランスをどこにおくのかということになる。</p>
<p>会長</p>	<p>歩行空間のネットワークについて説明いただきたい。</p>
<p>区側</p>	<p>歩道のある場所が限定されているが、それをどう確保していくか。少なくとも駅周辺において歩道の点字ブロックを含め、皆さんが歩きやすい空間を作っていくネットワークをいかに充実させていくかということである。</p>
<p>会長</p>	<p>空中にあるばかりではなく、地上も含めて空間ということだった。都市づくりとして、オランダは自動車が入れないことや電動自転車は使えないなどといった規制を設けているケースがある。それはSDGsを掲げて取り組む環境問題との絡みによるのだが、目黒はどんな街になるのか。次元を上げて考えるとよいのではないか。今後まとめていく際の検討課題であろう。</p>
<p>会長</p>	<p>次に自然環境・景観についてご説明をお願いします。</p>

区側	[行政分野別審議（自然環境・景観）] (資料により説明（基本構想検討シート：自然環境・景観）)
会長	ご意見をいただきたい。
委員	自然環境と景観だとみどり、生物多様性の話になってしまうが、もう少し広い視野での都市環境や地球環境の話はどこかに入るのか？
区側	地球環境については第5回の環境分野で議論いただいた。
委員	6－（4）について目黒川の合流式下水道の早期改善を都に要望とあるが、5年後には早期改善が図られるようにしていただきたい。10年後には水質改善が果たされていることを方向性に掲げていくべきではないか。
区側	河川の水質改善は費用と時間がかかる課題である。東京都や世田谷区・品川区とともに検討会を行っている。目黒川の下水道利用については、世田谷区が61%を占めている。水質改善の計画を作り、区としては令和5年度には運転を開始したいと考えている。これから東京都と費用について話し合う。硫化水素に対して酸素を入れれば一定程度の水質の改善は見込まれるが、匂いはしないという程度である。合流する下水道が改善されないと根本的な解決にはつながらないため、どうしても時間がかかる。区としては早くやりたい。
会長	オリンピックがあるのに東京湾の問題も含め実にみつともない。日本は近代国家なのか怪しいということになるので、これは早期改善が必要であり、むしろレガシーとして改善されることが望まれる。
委員	遺産相続により分割された土地に新築の家が建つがみどりが少ない。建築許可を下す時に協力要請をしなくては、緑化推進にならないのではないか。
区側	現在もみどりの条例があり、それは建築確認前に緑化計画を作って協議するという制度である。それにより新築の大きな建物は道路沿いに植樹がなされている。建築主が自主的に行っているものもあるが、みどりの条例で道路沿いや敷地には木を植えるという制度を作って

	<p>いるため、そこで指導をしている。</p>
会長	<p>野鳥の種類を増やすといった生物多様性はよいが、鳥などのフン害はどうするのか。共生するための視点と両方が必要ではないか。</p>
区側	<p>地域猫や地域ハトなどは、エサを与えることが問題である。野鳥の在来種を観察し在来種が住める環境としていくことを目的としている。カラスやフン害については、駆除やマナーの問題ではないか。</p>
会長	<p>テレビでもインコの増殖といった問題が取り上げられていたが、駒沢通りでも類似の問題がある。そういった問題とどう共生するのか。何か対策が講じられるのかも併せてご検討いただきたい。</p>
委員	<p>景観の関係でお聞きしたいのだが、目黒区の地域特性を生かした、という表現が散見しているが、目黒区の地域特性を区はどうとらえているのか説明いただきたい。</p>
区側	<p>本区は地形的な変化に富み、寺社や街角の石造物など歴史的にも価値がある景観が点在している。道路形状といった生活空間がかもしたす景観地形や街並み空間を重要な地域特性ととらえている。自然、歴史、生活空間、街並みの変化などの要素に分けて景観計画に取り組んでいる。</p>
委員	<p>私もそう思っているので、文言に反映していただきたい。</p>
会長	<p>では防災・防犯についてご説明をお願いします。</p>
区側	<p>[行政分野別審議（防災・防犯）] （資料により説明（基本構想検討シート：防災・防犯））</p>
会長	<p>ご意見をいただきたい。</p>
委員	<p>全体の質問を含めた感想になるが、区がどれだけ対策を主体的にやろうとしているのか見えない。5年後の（5）避難所について、5年後に準備を推進していく。10年後も（4）支援の準備を推進していくになっている。具体的に何をするのか示していただきたい。</p>

5年後の（５）についてだが、一般の避難所整備だけでなく、災害弱者が利用する福祉避難所をどう充実させていくかを加筆してほしい。関連して10年後の（１）リーダーの育成についてだが、公助から共助へというのは理解できるが、共助を推進するのは公助の後退を意味するわけではないので、公助が環境を整えたうえで共助を推進するといった公助の土台があることを加筆いただきたい。

1（２）の項目の避難所運営協議会設立について質問だが、制度設計として避難所に職員が行くかどうかは自治体によって違うが、目黒区はどうなっているか伺いたい。

また、要配慮者対策の実施、要配慮者支援プランの策定、避難行動要支援者名簿等の記載について、国のガイドラインでも触れられているものだが、目黒区として具体的にどのように取り組むのか確認したい。要配慮者支援プランについて、他の災害で福祉避難所が機能した例はなく課題となっている。これに対応する具体的な施策等が含まれていないので追加していただきたい。

会長

意見の部分は反映していただく。要配慮者への対応等、具体的に進んでいる内容について、中身が伝わっていないという指摘でもあるので、説明いただきたい。

区側

項目4の右肩にあるように、目黒区の地域防災計画では、自助・共助・公助をバランス良くと考えており、基本は自助・共助、足りないところを公助と考えている。準備を推進するという表現については、すべて行政が整備してくれるという印象をなくす意図がある。実際の災害時に、区の防災課の職員が行くのは難しい場合も考えられる。目黒区では38地域避難所に各5名指定職員がおり、避難所となっている区立小中学校の教職員と避難所に来る方と連携して運営することとしている。

要配慮者について、要支援者名簿は作成中で、平成31年3月末現在、登録者が15,500人、警察・消防・民生等への名簿データ提供同意者が約8,000人である。

個別支援について、一人ひとりの避難計画も、難しいが作成を進めている。要配慮者の防災行動マニュアルも配布している。福祉避難所は、特別養護老人ホーム・障がい者施設・保育施設などの区立または民間の施設で、目黒区内に22か所ある。今後新しい施設ができた場合は、指定を増やすこともある。

委員	<p>避難所運営協議会の充実が大事であり、そこをしっかりとやれば「6. 課題解決の方向性」の5年後、10年後の内容はかなり進められる。「1. 主な成果実績」に避難所運営協議会が含まれているが、「6.」にないのは問題である。地域防災リーダーの育成も大事だが、実際の活動でも、個人より組織の充実が大事だと感じるのでそこに力を入れてほしい。防災課からは現在も非常に支援していただいている。</p>
委員	<p>「6.課題解決の方向性」の5年後10年後両方に出てくる「ボランティアの若者や女性」の「女性」の表現について、再検討してほしい。「女性」は、暇であり、外で働いていないのが前提とを感じる表現である。</p>
委員	<p>「4 個別計画の概要」の右上、目黒区地域防災計画の地域防災力の向上とあるが、今年、消防署での防災協会の地域の問題への取組に、町会連合会が加わり、そこを要に地域防災力を上げていくという動きになった。区と消防署も連携し、5年後10年後の部分にも入れていただきたい。</p> <p>防犯面について、これだけ防犯カメラが威力を発揮しているのに設置を嫌がる人がいるため、啓発してほしい。</p>
委員	<p>災害時には状況をいち早く知ることが重要である。情報ネットワークもしくは、情報を共有できる環境を整備してほしい。視覚的にも情報が得られるのが理想である。区民または区を訪れている被災者が情報を得られるようにしていただきたい。</p>
委員	<p>首都直下地震の発生確率を考えると、この計画期間中に起こる可能性があるので、広域巨大災害への備えが必要である。目黒区内だけでなく、外部との連携なども事前に想定しておく必要がある。発生後の復旧・復興についても追記いただきたい。</p>
会長	<p>色々な問題について、区・警察・消防など広域的な連携が進み、携帯メールでの情報提供などもかなり普及している。生活安全課からの電話が、特殊詐欺が疑われるなど信用できない社会になっているが、信じられる安全安心な社会づくりについて啓発をしていく必要がある。世の中は多様であり、防犯カメラが嫌な人もいるが、抑止効果が大事である。地域と行政との役割分担や連携も含め適切な実施方法を</p>

	<p>考えるべきである。共助についても、できる人・難しい人がおり、あり方を考える必要がある。一方で、要配慮者自身にも対応できる部分もあるなど多様であるので、その視点を組み込めるとよいと感じる。抽象的な意見もあるが、今後のまとめで組み込んでほしい。防災防犯は、パーフェクトは難しいが、目黒は安心・安全な場所だということろまで持っていきたい。</p> <p>では中間のまとめについて説明をお願いしたい。</p>
区側	<p>※資料3を説明</p>
	<p>以 上</p>
	<p>中間のまとめの資料が届いたらご意見を頂きたい。</p> <p>短い時間で議論しているが、拙速にするつもりはないので、忌憚のないご意見をいただき、しっかり汲み取ってまとめていきたい。</p>
会長	